

第1回授業：データ活用・AIの基礎 2025年10月21日（火曜日）

- グラフの種類を通し、基礎的なデータ分析を学習
- 日常生活や農業における具体的な活用事例を紹介

データ分析

<p>棒グラフ 「種類の比較」 最も多い、少ない</p>	<p>折れ線グラフ 「時間の経過による変化」 上昇、下降</p>	<p>円グラフ 「全体に対する割合」 構成比、比率の大小</p>	<p>散布図（相関図） 「2つの値の関係(相関)」 関係があるか、どの程度あるか</p>
---	---	---	---

データ分析

傾向・・・
棒グラフや折れ線グラフなどでわかる、全体感

相関・・・
2つのデータの間に「関係」があるか
「散布図」を使うことで差を強調できる

因果・・・
「Aが原因でBが起こった」といえる関係 → 別途調査する必要あり

農業におけるAIの事例

牛の行動をモニタリング
U-motion

NTTテクノクロスでは、牛の首に付けたタグから採食・飲水・反芻・移動など7つの行動を24時間モニタリングし、発情・疾病・分娩の兆候を検知して早期対応に役立っている。

2021年時点で600牧場以上・12万頭以上で導入実績がある。

農業におけるデータ活用の事例

広島大学

乳牛を暑熱ストレスから守る

牛は暑さに弱く、温度と湿度の複合指標である THI（温湿度指数）が68～72を超えると乳量の減少が観察される。熱ストレスにより飼料摂取量や繁殖機能も低下する。

写真 ハイブリッド換気の一例

第1回授業：データ活用・AIの基礎 2025年10月21日（火曜日）

• 授業風景

